

## 令和元年度 奈良県知事賞

「税について考えてみた」

桜井市立大三輪中学校 三年 田郷 遥人

先月、母のいとこに赤ちゃんが生まれました。お母さん達が出産にかかるお金の話をしていました。赤ちゃんを産むのにけっこうな大金がいることをはじめて知りました。しかし、国からの補助金があることも同時に知りました。僕が生まれた時もあったそうです。出産の補助金があるのとないのでは、全然違うと言っていました。やはり補助金があるので安心できる部分もあると言っていました。最近では、市によって妊娠中の検査や検診の補助もあるそうで「助かった」と母のいとは言っていました。これらの補助金は、税金から成り立っているのだと思いました。

僕らが生活していくうえですごく助かっているひとは、医療費じゃないかなと思います。日本は国民皆保険制度で加入者が保険料を出し合い、病気やけがの場合に安心して医療が受けられる。それに僕達、中学生以下はさらに子供医療費助成制度がある。この制度は、子供を育てていくうえで本当に必要であって助かる制度だと母は言っていました。僕達の年は、一度小学生になる時に子供医療が終了したそうです。それが何年かして、中学卒業までに延長されたそうです。子供医療制度があると早めに病院に行くことができ重症化も防げるのではないかと思います。子供医療の他にも児童手当、そして今年10月からの保育料無償化が始まります。このように子供を育てるための制度も増えてきています。こういった制度をきっかけに、子供を産みやすく育てやすい社会になっていけば良いなと思います。

そういう社会にするために、僕の父もそうですが、一生懸命に働いて、税金を納めている大人がたくさんいるということを忘れてはいけないと思います。そのおかげで僕らは、学校で教育を受けることができ、病気になれば病院で治療を受けることもできます。

僕が納める税金は、消費税くらいです。それも僕が働いたお金ではなく元は、父や母、おじいちゃん、おばあちゃんからもらったおこづかいです。なので今、僕らは税金に支えられてるのだと思いました。将来、就職して給料をもらった時は、きちんと税金を納めていきたいと思います。

最近では、高齢者の割合が増え、出生率の年々の低下で若年者の人口が減る「少子高齢化」が進んでいます。このままでは、若い世代の負担が増えていくのかなと思います。そうならないように、前にあげた子供を産みやすく育てやすい社会の実現や高齢者が活躍できる社会の実現。新たな労働力の確保など、さまざまな世代の人が豊かで安心して暮らしていける社会を考えていかなければいけないと思いました。税のことを知り自分にできることをきちんとできる大人になろうと思います。